



MONTHLY NEWS

京都画廊連合会ニュース

THE KYOTO GALLERIES FEDERATION OF ARTS

2018 6月号

No.—518

生誕150年 横山大観展

と き／6月8日(金)～7月22日(日) 10:00AM～5:00PM

ところ／京都国立近代美術館 (祝日以外の月曜と7/17休館)

京都市左京区岡崎公園内 ☎075-761-4111

横山大観(1868-1958)の生誕150年と没後60年を記念して、その華麗で大胆な作風の変遷を各時期の代表作を網羅して明らかにする大回顧展である。東京美術学校で師事した岡倉天心の理想主義に心酔し、古典に学びながらも斬新な画題に取り組んだ初期の代表作『屈原』から始まり、日本美術院創立頃に見せた『朦朧体』の新画法を駆使した作品群、インド訪問時に着想を得た『白衣観音』(1908年)は最近発見された話題作であり、その後大正期には、伝統的な題材を独自に発展させた『瀟湘八景』(1912年)や『秋色』(1917)などの新感覚の大観芸術は昭和期にかけて大成する。西洋から様々なものや情報が押し寄せる時代の中、日本絵画の伝統的な技法を継承しつつ、時に改変を試み、また主題についても従来の定型を軽々と脱してみせた、こうした手法はさらに広がりを見せ、自在な画風と深い精神性を備えた数々の大作を生み出した。40メートル超で日本一長い画卷『生々流転』(1923年重要文化財)は、会期中に巻き替えをしながら全部分を見せるほか、『夜桜』『紅葉』(いずれも展示期間は7月1日まで)をはじめとする代表作に、数々の新出作品や習作などの資料をあわせて展示し、制作の過程から彼の芸術の本質を改めて探るものである。



「或る日の太平洋」
1952(昭和27)年
(東京国立近代美術館蔵)



「白衣観音」
1908(明治41)年



「生々流転」(部分 会期中巻き替えあり)
1923(大正12)年(東京国立近代美術館蔵)

もちろん「大観といえば富士山」というイメージにそぐわない数多くの富嶽の絵があるが、中でも『或る日の太平洋』(1952年)は秀逸。逆巻く波濤の彼方に霊峰富士を望み、海中に龍をひそませた晩年の傑作は、戦時体制下での国粹的潮流に支えられていた日本画家に対する批判の矢面に立たされた大観が、様々な批判に屈することなく自らの姿勢を守り通した末に見せた境地である。

総出品数約90点を展観する本展では、語り尽くされた大観芸術を見直す材料が提起されており、10年振りという大規模な回顧展の看板に反しない必見のものである。

京都文化博物館開館30周年

色彩の画家 オットー・ネーベル展

シャガール、カンディンスキー、クレーとともに

スイス、ドイツで活動した画家オットー・ネーベル(1892-1973)。1920年代半ばにワイマールに滞在したネーベルは、バウハウスでカンディンスキーやクレーと出会い、長きにわたる友情を育みました。

ベルンのオットー・ネーベル財団の全面的な協力を得て開催される、日本初の回顧展となる本展では、建築、演劇、音楽、抽象、近東などが手がけた主要なテーマに沿って、クレーやカンディンスキー、シャガールなど同時代の画家たちの作品も併せて紹介することで、ネーベルが様々な画風を実験的に取り入れながら独自の様式を確立していく過程に迫ります。バウハウス開校100周年(2019年)を前に、若き日のバウハウス体験に始まり、素材やマチュールを追求し続けた画家ネーベルの知られざる画業を紹介いたします。

と き／4月28日(土)～6月24日(日) 10:00AM～6:00PM

ところ／京都文化博物館(4/30と5/1以外の月曜休館)

京都市中京区三条高倉 ☎075-222-0888



オットー・ネーベル
『輝く黄色の出来事』

1937年、油彩・キャンヴァス、オットー・ネーベル財団

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1																										
		金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日																										
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	桂離宮のモダニズム																																																								
	3F	祇園祭 - 蟬螂山の名宝 -																																																								
	4F	色彩の画家 オットー・ネーベル展 シャガール、カンディンスキー、クレーとともに (月曜休館)																																																								
	5F																																																									
6F	貸展示室(5F/洋室・150㎡×4室・6F/和室・畳敷70畳×3室、45畳×1室)のご相談は 京都文化博物館企画事業担当(075-222-0895)までお気軽にご相談ください。																																																									
別館	音楽 会	音楽 会	音楽 会							音楽 会	音楽 会																																															
京都学・歴史 左京区下鴨半木町1-29 723-4831	「御一新!～19世紀後半の京都～」(祝日・第2水曜日休館)																																																									

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1	
		金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111		生誕150年 横山大観展 (月曜休館)															→7/22																
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151		庭園のみ開館 (月曜休館)										特集展示 新収品展 (月曜休館)										→7/16											
京都市美術館 左京区岡崎公園内 771-4107	本館	再整備工事のため、本館閉館中 (別館のみ開館。)																															
	別館	第72回 文人展	第68回 モダンアート展					第20回京都墨彩画壇展 第20回新陶彫京都展					大潮会近畿支部展 京都現代水墨展					第56回 水穂書展															
京都府立文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F	晨鳥社展 (日本画)	グループ女展 (日本画)					第63回 青塔社 (日本画)					京都二紀展 (洋画)					第67回 象同人展 (美工総合)															
	2F	晨鳥社展 (日本画)	第41回 金曜会日本画展					第63回 青塔社 (日本画)					※19日は1:00PM よりOPEN予定					刻而菟弘像 彫刻展															
	3F	日本画展 彩々会 (日本画)						第63回 青塔社 (日本画)																									
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007		【リニューアルオープン記念展覧会】 「堂本印象 創造への挑戦」																									蘭島閣美術館 コレクション 京の 日本画家が描く情景					→9/30	
何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311		エリオット・アーウィットの世界 (月曜休館)																															
高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	院展俊英作家 小品展 (日本画) - 虚と実 - 田中英生展 (洋画)					清水達三展 (日本画)					萩 次世代の陶 - 岡田泰・田原宗雄・ 坂倉正敏・新庄紹弘・ 坂悠太 -					徳持耕一郎展 スイングする鉄筋彫刻 渡辺信喜展 (日本画) - うたの原風景 -					日本陶芸美術協会 選抜展					→7/3						
	グランド ホール	第73回 春の院展																															
大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	小暮真望 版画展	吉村楽入 茶陶展					増島豊治 絵画展					ギィ・デサップ 来日 絵画展					輪島うるし紅札市					→7/3										
	アート サロン	下田顕生 ガラス展	水辺の物語 - 北川安希子 日本画展					有田匡展 いのちの森					中司満夫 油彩画展					池田宏介 作品展					→7/3										
	ミュージアム																																
中信美術館 上京区下立売油小路東入 417-2323		福本潮子展 (月曜休館)															→7/6																
並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277		春季特別展 「並河靖之七宝の誉」																														→7/22	
美術館「えき」KYOTO JR京都伊勢丹7F 352-1111		ダイアン・クライス コレクション アンティクワレス展															ROCK: POWER, SPIRIT&LOVE																
会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1	
		金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
アートギャラリー北野 中京区三条河原町東入 221-5397	1F	岡本治 マンガ展					大田耕治 藍染展					後藤敦子 個展 (平面)					谷本洋・江口知子・田代里見展 (伊賀焼、ガラス、白磁)					河合真弓展 (平面)					→7/2						
	2F																																
Art Spece MEISEI 中京区寺町竹屋町上ル 744-0122		水口裕美子展 - 水彩画 -					常設展					嵯峨美術大学油画研究室展 (月曜休廊) 思考する視線2018 des regards qui pensent										Sept - 日本画展 -											
アートギャラリー博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401		女流作家 2018 (月曜休廊)																															
アートギャラリー鵬休堂 東山区東山五条上ル西入ル 541-3805		Kyoto Arts & Crafts																															
綾小路ギャラリー武 下京区綾小路高倉東入ル 351-4787		navy-yard					型染教室展					ミヤコ展示会 - レース・洋服・小物 -																					
イムラ・アート・ギャラリー 左京区丸太町川端東入 761-7372		皮人紋個展 (12:00~6:00PM) (日・月休廊)															→7/13																
芸艸堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613		貸画廊受付中																															
絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137		常設展示																															
延寿堂ギャラリーソフォラ 中京区二条寺町東入 211-5552		石井佐枝展 (陶芸)					休廊					松本郁美展 (陶器) (木曜休廊)										休廊 打田翠展 (陶芸)					→7/17						
御池画廊 北区小山上総町20-2 492-3083		洋画/日本画常設展 (日祝休廊) 青木敏郎・伊谷賢蔵・池田遙邨・熊谷守一他																															
カギムラ画廊 中京区河原町四条上ル東入 221-2996		洋画・日本画常設展																															
画廊えんじゅ 東山区三条通古川町東入ル 050-3557-1723		貸画廊受付中																															

Ⓔ: 企画および常設を中心に活動する画廊 Ⓕ: 貸画廊

スイスの夢幻画家
クリスティーヌ・セフォロシャ 日本初個展

と き／6月1日(金)～6月30日(土) 1：00PM～7：00PM
ところ／ギャラリー宮脇(日・月定休)
京都市中京区寺町通二条上ル東側 ☎075-231-2321

現代ヨーロッパを代表するヴィジヨナリー・アーティスト(幻視芸術家)として名を知られるクリスティーヌ・セフォロシャの日本初個展。極薄の和紙にモノタイプ技法などを使用し、用紙の表裏に透け滲むインクがきわめて幻影的なイメージを生み出す。立ち現れるのは、樹木、動物、鉱物などと異種合体したような奇異な偶像である。そこは、森の中なのか、海の底なのか…? 作者の内奥に潜むアニミズム的世界観が、走馬灯の投影する夢幻像のごとく描き出されている。見えないものを見えるようにする絵画の方法は「幻視」というにふさわしいが、彼女のヴィジョンは、彼女自身の夢や旅、そしてあらゆる人生の経験と現実を通して育まれてきたものだ。欧米ではこれまでアウトサイダー・アートの文脈で紹介されることが多かった作者だが、これは美術の最深部に位置する創造といえる。

Christine Sefoloshaは1955年スイス生まれ。2015年にモノグラフ「Timeless Wonderer」を出版。現在レマン湖畔で創作に動しんでいる。



「夜の航行」43×100cm 2015年



「リトル・フィート」40×27cm 2012年



「聖エリギウス」75×49cm 2016年

開窯100周年記念展 俊山窯のあゆみ

と き／6月15日(金)～6月27日(水) 9：30AM～5：00PM

ところ／京都陶磁器会館(木曜休館)

陶工房・伯耆陶展 ～伯耆正一 葉子 うつわの仕事～

と き／6月1日(金)～6月13日(水) 9：30AM～5：00PM

ところ／京都市東山区東山五条上ル ☎075-541-1102

俊山窯の開窯100周年を記念して、展覧会を開催いたします。

大正6年に初代、森一俊が京都東山の泉涌寺のふもとに窯を築いてから、100年余り、三代にわたり時代に応じた京焼を展開してきました。

これまで数多くの作家が俊山窯から独立し、京都だけではなく全国各地で活躍されています。

本展では、俊山窯の作品に加えて、独立した作家が全国から集結します。全国に広がる、俊山窯のあゆみを是非ご覧下さいませ。

出品者

森八重子	森 俊次	伯耆葉子	伊藤正博	関本 涉
斎藤雅子	清水幹子	木村年克	木本朋秀	山本高寛
山口寿乃	徳永栄二郎	安永康一	内藤加奈子	清水友恵
仲上雅子	加藤美樹	藤田美智	高原真由美	五条悠斗
林 民和	田邊 桂	高本鈴乃	富林紗季子	

伯耆正一さん葉子さんの器は、多彩な表現と親しみやすいデザインが魅力的です。

タイトルにもTraditional∞Modernとあるように、伝統的な要素を活かしつつも新鮮な表現を目指されています。人気の「Dreams Come True」シリーズは、古典様式である「一閑人」を可愛らしい仔猫や仔犬などに置きかえ、優しいパステルカラーの釉薬で仕上げられています。

暮らしに彩りを添える、素敵なお二人のうつわの仕事をお楽しみくださいませ。

伯耆正一 陶歴

1954年 京都市に生まれる
1982年 楠部彌式氏に師事
国内外の公募展・展覧会に入賞・入選・招待、多数
現在 日展会員、日工会理事、創工會会員、
日本工芸美術作家協会理事、京都青窯会監事

伯耆葉子 陶歴

武蔵野美術短期大学 工芸デザイン 修了
京都府立陶工高等技術専門校 成形・図案科 修了
97伊丹クラフト展入選
ソウル国際陶磁器装飾コンクール 優秀賞・特選 など



左より2点ずつ、初代作・二代作・当代作



[今月の展覧会より]

山口了雄回顧展

と き／6月12日(火)～6月17日(日) 11:00AM～6:00PM
ところ／ギャラリーカート(最終日:5:00PMまで)
京都市中京区寺町御池下ル ☎075-231-7813

絵を習っていた坪井先生に「さざえ」の貝の写生したのを見てもらったことがある。スケッチ・ブック一枚に六つ程描いて、一冊描き終えたので持って行った。どんなことを言ってもらえるのか気にしながら先生の意見を待った。先生は私のスケッチ・ブックを一通り見て「十冊ぐらい描いたら『さざえ』の方からお辞儀をして来るけどなー。」とそれだけだった。今でも先生のこの言葉を思い出すのである。 山口了雄



「裸婦素描」1972年



「さざえ」1982年

山口了雄略歴

1930 滋賀県高島市永田に生まれる
1953 京都学芸大学美術科卒業
洋画家・坪井一男に師事
1980 第1回個展(ギャラリー「観」)
1990 安曇川文化芸術会館で自選展
1991 大津市、ギャラリー古今で個展(以後数回)
2007 ギャラリーカートで第2回自選展
2017 第35回個展(ギャラリーカート)
現在、山科在中

e・g・g・o 0063 青木香保里展

と き／6月14日(木)～6月23日(土) 10:00AM～6:00PM
ところ／大雅堂／1F展示室(会期中無休)
京都市東山区祇園町北側301-2 ☎075-541-7388

自然界に存在する有機物をモチーフに描く青木香保里。水中で舞い踊るクラゲは優雅で躍動感に溢れ、咲く花の姿は繊細でありながらも凛々しく映り、生物が持つ生命の輝きを確かに捉え、表現しています。この機会にぜひご覧下さいませ。

〈展覧会に向けたコメント〉本展覧会に向けて、ライフワークとして描いているクラゲと、季節の花々をモチーフに作品を制作いたしました。大きな作品ではクラゲの持つ浮遊感や躍動感を、小作品ではくらげや花々の繊細さ、優美さを表現したいと考えています。

〈日頃の制作のモチーフやコメント〉私は自然界にある風景、動植物の動きの素描を元に、再構成しながら絵画を描いています。私は日頃、胡粉と墨、少量の顔料を用いて絵を描いています。極力余計なものを取り除き、薄い絵の具の重なりと筆致で対象を描くことで、生命の儚さと強い煌きを表現したいと思っています。

青木香保里 略歴(〈作家在廊予定〉6月16日(土)を予定)

1988年 東京都生まれ
2011年 三菱商事アート・ゲート・プログラム13 入選(以降複数回)
2012年 個展「青木香保里展」(銀座Gallery フォレスト/東京)
2013年 多摩美術大学 美術学部 絵画学科 日本画専攻 卒業
佐藤国際文化育英財団 第23回奨学生
日本文化藝術財団奨学生
財団法人守谷育英会学修奨励金 奨励賞
KEAT小砂環境芸術祭 那珂川町議会議長賞(福岡)
第3回Dアートビエンナーレ展 入選
2014年 朝日新聞厚生文化事業財団第4回「Next Art展」推薦
新生絵画賞展 シード賞 日本の絵画2014 佳作賞



「水面」6F



「大輪」SM

2015年 多摩美術大学大学院美術研究科絵画専攻日本画研究領域修了
第33回上野の森美術大賞展 入選
2016年 枕崎国際芸術賞展 佳作賞
2017年 「第4回グループホライズン」
(高島屋日本橋店/横浜店/大阪店)
「千住博と銀河のスターダム展」
(近鉄百貨店奈良店/奈良)

エリオット・アーウィットの世界 Elliott Erwitt展

と き／4月1日(日)～6月10日(日) 10:00AM～6:00PM
ところ／何必館・京都現代美術館(月曜休館)
京都市東山区祇園町北側271 ☎075-525-1311
<http://www.kahitsukan.or.jp>

エリオット・アーウィットは世界的な人気を誇るニューヨーク在住の写真家です。1928年ロシア人の両親のもとパリに生まれたエリオットは、戦禍を逃れて渡ったアメリカを拠点に、写真家としての活動を始めます。25歳の若さで写真家集団マグナムの一員となり、マグナム二世世代の写真家として高く評価されてきました。

フォトジャーナリストとして、世界中の歴史的瞬間に立ち会い、J・F・ケネディ大統領、チェ・ゲバラ、マリリン・モンローなど、20世紀を代表する著名人も数多く撮っています。しかしその写真は、記録というだけでなく、非常に魅力的に、被写体の素顔が切り取られています。また、エリオットの関心は子供や恋人たち、街路や美術館など、何気ない日常の瞬間にも向けられました。優しい皮肉に包まれた独特のユーモアと哀愁が漂うエリオットの写真は、人生という劇場の一瞬一瞬を鮮やかに写し出し、私たち鑑賞者の心を惹き付けて止みません。

本展では、エリオット・アーウィットのサイン入りオリジナルプリント約60点を「一瞬の劇場」「小さな隣人」「子供の情景」「時代の証言者」という4つのテーマに構成し、展覧いたします。この機会に是非ご覧ください。



「パリ、フランス」1989年

会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1				
				金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月			
企	画廊 きよみず	日本画常設展 (日祝休廊)																																				
企	画廊 後素堂	貸画廊受付中																																				
企	画廊 たづ	日本画常設展 (日祝休廊)																																				
貸	ざおんギャラリー八坂	京友禅手描展 堀勝弘																						京都産業大学写真部 2回生春展														
貸	ギャラリー 梧桐	貸ギャラリー受付中																																				
貸	ギャラリー M	花菖蒲と初夏の旅展 (ドバイ、パリ、インド) (掛軸、油彩、水彩) 松本祐佳																																				
貸	ギャラリーカト	1F 吉田恵利子絵画展 〜風のしらべ〜		第7回 KYOTO ART EXHIBITION 平和を願う美術家の集まり					山口了雄 絵画個展		立命館大学写真部 新人展															龍谷大学写真部展												
貸	ギャラリーかもがわ	よろずふきこ 遺作展																山城博明写真展 「抗う沖縄のシュプレヒコール」																				
貸	ギャラリー 祇園小舎	第22回 アトリエ あずま展		衣香流 押絵 京都展	同志社大スケッチクラブOB 第10回65卒6人スケッチ展					第10回 泥展															亀崎敏郎水彩画展 スケッチ旅物語そして京都													
貸	ギャラリー 吉象堂	藤井収 漆芸教室展	島津製作所OB絵画展				銅駝美術工芸高校 卒業生有志展																															
貸	ギャラリー Create洛	森令子展 (洋画)	野村久之・野村はるみ二人展 (日本画・立体造形) (月曜休廊)				新槐樹社京都支部 作品展 (洋画)																		劉瑞優展 (洋画)													
企	Gallery G-77	常設展																																				
貸	ギャラリー K	常設展																																				
貸	ギャラリー 恵風	1F 福嶋三入展/栗田あずま 西住彰子・日良真弓	梅崎淇 (ヨウユキ) 展 (平面)	小川良子展 (平面)																		木村克朗展 (平面) (月曜休廊)																
貸		2F 吉田真紀子展 (版画)	植田麻由展 (陶芸) (月曜休廊)																		安藤真司展 (版画) (月曜休廊)																	
貸	ギャラリー 佐野	ご利用お申し込み受付中																																				
企	ギャラリー 三条祇園	常設展																																				
企	ざらりい 思文閣	思文閣大入礼会下見会																																				
企	ギャラリー 白川	絵が音を紡ぎだす 「メメント・モリ 2017」出版記念展																																				
貸	ギャラリー 翔	めぐる ぐるぐる展 (絵画、立体)	鮮やかな甦り 漆芸家 脊口卓 時代漆塗家具展 (月曜休廊)				常設展 (絵画・陶器他)																		常設展 (絵画・陶器他)													
貸	ギャラリー 16	三宅啓介展「Ungeziefer」(月曜休廊) (インタラクティブ映像インスタレーション)				岸田良子展「TARTANS」 (絵画) (月曜休廊)																		櫻井類展 (絵画) 「つぶら/不思議なそのとおり」														
企	ギャラリー 創	常設展																																				
貸	ギャラリー 象鯨	貸ギャラリー受付中																																				
貸	ギャラリー TAJIRO	← 大人手ぶら絵画教室 →																																				
貸	ギャラリー Little House	動物たちと 暮らす部屋	Prologue Febula Exhibition 2018																		ミニ絵画・京都展																	
企	ギャラリー 鉄齋堂	常設展 - 秋野不矩・富岡鉄斎・竹内栖鳳など (6・9・18・19・28・29日休廊)																																				
貸	ギャラリー 富小路	オークヴィレッジ建築展																																				
企	ギャラリー なかむら	中馬泰文展 (版画)															水口裕務展 (洋画) (月曜休廊)																					
貸	ギャラリー 中井	滝田揚子展 (平面)	青木啓子展				樫田明夫展				中野悟朗展																		丑グループ展									
企	ギャラリー 白梅園	白崎信子ガラス作品展																																				
貸	ギャラリー ヒルゲート	1F 蒼夏展 (油彩)	開廊30周年記念企画Ⅳ 田島征彦展 新作・絵本『そべえときじむな』 原画と型染大作				畑千秋展 (行動会員)																		第25回 心に響く小品展 (100余人の現役作家)													
貸		2F 長村恵美子展															江川恵展 (日本画)																					
企	ギャラリー 美楽堂	日本画常設展																																				

【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事に掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ (<http://www.kyoto-art.net/>) では、すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。
「ギャラリー 富小路」と「ギャラリー TAJIRO」が新入会されました。

